

---

# 和歌山大学岸和田サテライト 事業報告 2016 (平成 28 年度)

---



wakayama  
univ.



はじめに

和歌山大学は、大阪府岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、2006年4月、岸和田市立浪切ホールに岸和田サテライトを開設しました。岸和田サテライトでは、和歌山大学の学部開放授業（教養科目）・大学院経済学研究科授業および専門研究・公開講座等を開講・実施し、地域のみなさんに高等教育・生涯学習の機会を提供しているほか、地域課題の解決に向けた各種の研究や連携事業を展開しています。

2016年度は、本学と岸和田市との連携の指針となる「和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン2014－2023、同アクションプラン2016－2018」に沿って、戦略的・計画的な事業運営に取り組みました。このビジョンおよびプランは、本学と岸和田市との連携の目的である4つの「目指す姿」を軸に、それらを実現するための各種事業および組織運営の充実を図るために策定したものです。

岸和田サテライトの各種事業は、自主事業としての活動と、本学の各部局が岸和田市を中心とした大阪府南部（泉州地域）で事業を実施する際の調整・協力等の諸活動からなっています。

本事業報告においては、前者の事業活動に重点をおきつつ、地域における本学の教育研究および連携活動等の概要を、上記の4つの「目指す姿」に沿って報告しています。

今後ともサテライト事業にご支援・ご指導のほど、よろしく願いいたします。

2017年4月

和歌山大学岸和田サテライト代表 藤田 和史（経済学部准教授）

# 事業体系表

(和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン・同アクションプランに沿った事業分類)

目指す姿		事業分類					
I	高等教育機能を発揮している	1	高等教育事業	1-1	大学授業の開講	1-1-1	高度職業人養成型授業の開講
						1-1-2	地域課題探求型授業の開講
						1-1-3	文化・教養型授業の開講
				1-2	学習環境の充実	1-2-1	学習環境の充実
II	市民の生涯学習活動をサポートしている	2	生涯学習機会の提供	2-1	わだいの浪切サロンの充実	2-1-1	継続実施と新たな展開
						2-1-2	戦略的な周知活動
				2-2	セミナー等の開催	2-2-1	セミナー等の開催
				III	地域課題の発見と解決・大学の知的資源と住民の交流をサポートしている	3	地域研究事業
4	各種連携	4-1	各種連携				
						4-1-2	生涯学習分野・まちづくり分野の連携促進
						4-1-3	連携ひろば「ワダイ×キシワダ」の運営
		4-2	岸和田サテライト友の会への支援			4-2-1	友の会の活動促進、地域との連携
IV	持続可能な連携組織となっている	5	組織体制・財政			5-1	戦略的な組織体制
				5-1-2	大学の連携体制の強化		
				5-1-3	市の連携体制の強化		
				5-2	事務局機能の充実	5-2-1	事務局機能の充実
				5-3	財政運営	5-3-1	持続可能な財政運営の検討
				5-4	効果的な広報活動	5-4-1	多様なチャンネルによる戦略的広報の実施
				6	事業立地	6-1	事業立地

# 目 次

事業体系表(和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン・同アクションプランに沿った事業分類)

## ■ 1 高等教育事業

- (1) 学部開放授業 .....81
- (2) 大学院授業 .....83
- (3) 大学院経済学研究科修士課程 .....84
- (4) 学習環境の充実 .....84

## ■ 2 生涯学習機会の提供

- (1) わだい浪切サロン .....85
- (2) 歴史講座 .....88

## ■ 3 地域研究事業

- (1) GIS 活用プログラム .....89
- (2) オープンデータの取り組み .....90
- (3) 主権者教育プログラム .....91

## ■ 4 各種連携

- (1) 学校教育分野 .....92
- (2) 生涯学習・まちづくり分野・産学連携分野 .....93
- (3) 岸和田サテライト友の会の活動支援 .....94

## ■ 5 組織体制・事務局機能

- (1) 組織的な連携推進 .....96
- (2) 地域連携コーディネーターの活動 .....97
- (3) 広報活動・各種協力 .....98
- (4) 地域からの問い合わせ対応 .....99

## ■ 資料編

目次 /A 開講授業データ /B 事業告知チラシ /C 岸和田市附属機関委員等の就任状況 /D 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿 /E 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿 /F 連携ひろばワダイ×キシワダ会員名簿 /G 和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿 /H 地域連携コーディネーター活動記録



## 1 高等教育事業

目指す姿 I：高等教育機能を発揮している

和歌山大学岸和田サテライトでは、本学が有する高等教育機能を活用して、社会人の学び直し・地域課題の探求やスキルアップなど、大人の学習ニーズに即した学部開放授業（教養科目）と大学院授業（経済学研究科）を開講しています。

2016 年度は、学部開放授業 4 科目と大学院授業 8 科目を開講し、受講・履修者はのべ 124 名でした。授業は、土曜日と平日夜間に浪切ホールで開講しています。

### (1) 学部開放授業

（「教養の森」センター）

18 歳以上の方を対象に、本学「教養の森」センターのサテライト科目を学部開放授業として開講しています。〈地域課題探求型科目〉、〈文化・教養型科目〉の 2 系統の授業を開講し、社会人と本学の学部生が履修しています。

学期	科目名	担当学部	担当教員	受講者数
前期	マストურიズムによる地域活性化 〈地域課題探求型科目〉	観光学部	廣岡 裕一 教授	14 (4)
	文学テキストで読む社会科学 －都市・国家・人間－ 〈文化・教養型科目〉	非常勤講師	前川 真行 氏 (大阪府立大学准教授)	13 (1)

（内：学部学生数）

#### ■ 「マストურიズムによる地域活性化」

日本およびヨーロッパのマストურიズムを概観し、その後、日本における宿泊商品・着地型商品の開発と実践による地域活性化について、ディスカッションと課題発表などをおこないました。



#### ■ 「文学テキストで読む社会科学」

福祉国家・都市と郊外・民族問題などをテーマにした小説や文学作品テキストの批判的読解を通じて、現代社会の変容についての理解を深めました。



学期	科目名	担当学部	担当教員	受講者数
後期	データで地域を考える －課題発見と活動支援のためのデータ利活用－ ＜地域課題探求型科目＞	システム 工学部	満田 成紀 准教授	15 (5)
	英語で読む地域と景観 ＜文化・教養型科目＞	経済学部	藤田 和史 准教授	20 (8)

(内：学部学生数)

■データで地域を考える

地域活動を効果的・効率的に進めるためのデータの活用に関連して、さまざまなメディアで公開されている地域データの分析方法や、マッピングパーティ（まち歩きによる地図情報の発信）の手法を学びました。



■英語で読む地域と景観

英語文献の精読を通じて、景観とは何か、地域と景観の関係について学びました。英国の景観の概念・形成についての外国文献をテキストに、毎回、精読・翻訳の担当者が発表しました。



## (2) 大学院授業

(経済学部研究科)

大学院授業では、経済学研究科による〈高度職業人養成型科目〉、〈地域課題探求型科目〉を開講し、幅広い年代の社会人科目等履修生および大学院生がともに学んでいます。高度職業人養成型科目は、将来の修士課程進学を視野に入れた科目等履修生が多く、地域課題探求型科目の一部は、(大阪市、堺市を除く)大阪府内地方自治体職員の研究研修事業(マッセ OSAKA「地方分権ゼミナール」)としても活用されています。

学期	科目名	担当教員	受講者数
前期	憲法判例から見る日本国憲法	森口 佳樹 教授	9 (5)
	持続可能な現代社会	金川めぐみ 准教授 岡田 真理子 准教授 中島 正博 准教授	13 (6)
	所得税法特殊問題	片山 直子 教授	6 (3)
	会社法特殊問題	清弘 正子 准教授	3 (2)

学期	科目名	担当教員	受講者数
後期	ビジネスモデルデザイン特殊問題※	牧野 真也 教授	13 (6)
	消費税法特殊問題	米村 忠司 教授	5 (1)
	租税法実務特殊問題	近畿税理士会	7 (2)
	連結会計特殊問題	山田 恵一 准教授	6 (3)

(※はマッセ OSAKA 科目、その他は高度職業人養成型科目)

(内：大学院生数)



「持続可能な現代社会」



「ビジネスモデルデザイン特殊問題」

(3) 大学院経済学研究科修士課程

2016 年度、税理士を目指す 4 名の院生が岸和田サテライトで租税法の研究指導（平日夜間開講）を受けました。

学期	科目名	担当教員	受講者数
通年	専門研究Ⅱ および修士論文	片山 直子 教授	1
通年	専門研究Ⅱ および修士論文	渡邊 英之 教授	3

(4) 学習環境の充実

■サテライト図書資料

大学院・学部授業のテキスト・参考文献をはじめ、租税法院生の研究に必要な専門書や大学と地域の連携に関する図書を中心に購入し、蔵書の充実に努めています。2016 度は、購入図書 18 冊、その他各学部の定期刊行物の受入れ、本学教員の抜き刷り論文、他大学の報告書などの受け入れがありました。



■サテライト自習室

大学院生、科目等履修生を中心に、2016 年 4 月～2017 年 3 月に 192 件の利用があり、論文執筆や資料検索等のために自習室が有効に活用されました。



## 2 生涯学習機会の提供

目指す姿Ⅱ：市民の生涯学習活動をサポートしている

## (1) わだい浪切サロン

毎月第3水曜日の夜（2月と8月を除く）、年間10回の“mini 和歌山大学”を開催しています。「わだい浪切サロン」は地域への本学の教育・研究活動のPRの場としての役割を果たすとともに、住民の多様な関心に応える学習と交流の機会として定着しています。

(所属・職名は当時)

回	月日	内 容	話題提供者（所属）	参加数
81	4.20	地域と地球のための宇宙開発 －宇宙教育研究所の取り組み－	秋山 演亮 (協働教育センター教授)	56
82	5.18	非正規雇用と労働法	植村 新 (経済学部講師)	40
83	6.15	戦前期和歌山における女子教育の歴史 －高等女学校教育にみる理想の 女学生像の変遷－	土田 陽子 (システム工学部特任准教授)	32
84	7.20	音の静寂を聴く － pp への無限の広がりを全身で感じる クラヴィコードの世界－	山名 敏之 (教育学部教授)	79
85	9.21	生ごみや下水汚泥からのエネルギー回収を考える	吉田 登 (システム工学部教授)	54
86	10.19	数学に現れる無限の扱い方	片山 聡一郎氏 (大阪大学大学院教授)	62
87	11.16	きしわだと歩く私の人生 －青春時代から今、そしてこれから－	信貴 芳則氏 (岸和田市長)	70
88	12.21	世界一貧しい大統領」を生んだ 小さくてもキラリと光る国 －ウルグアイのあれやこれや－	内田 みどり (教育学部教授)	56
89	1.18	デジタルカメラのしくみ	野村 孝徳 (システム工学部教授)	51
90	3.15	稼げる中小企業のための「管理会計」	妹尾 剛好 (経済学部准教授)	38

年間参加者合計 538 名

「わだい浪切サロン」参加者アンケート（感想）から

◆ 第 81 回「地球と地域のための宇宙開発」

- 地域振興や人材教育等、これからの日本の展望も含めた視点のお話でした。(40代・男性)
- 宇宙 = 夢というイメージでしたが、宇宙 = 現実・防災の研究でもあるのだと知ることができました。(50代・女性)



◆ 第 82 回「非正規雇用と労働法」

- 非正規雇用の現状を知るよい機会だったので、参加してよかったです。自分も非正規雇用の身なので。(30代・男性)
- ジョブ型正社員への移行のメリット・デメリットについて理解できました。労働者が選択するためには、企業や国のバックアップがますます必要だと思います。(60代・女性)



◆ 第 83 回「戦前期和歌山における女子教育の歴史」

- 現代の「女性活躍」が、過去の女子教育の流れと最後につながっていておもしろかったです。(40代・女性)
- 「半迎天」（天の半分は女性が支えるといった男女平等を示唆する（言葉））とはいえ、まだまだです。こんな歴史はもっと広報が必要ですね。(80代・男性)



◆ 第 84 回「音の静寂を聴く」

- 初めて見る楽器で、なおかつ演奏が聴けてよかったです。興味がわき、家に帰って調べようと思いました。(20代・女性)
- PP（ピアノニッシモ）の音なのに、演奏を聴いているうちに、音がだんだん広がってきて大きい音に聞こえてきました。想像力をかきたてる音で、心も体も解放されました。日常生活の中でも pp の音を感じたいと思います。(50代・女性)



◆ 第 85 回「生ごみや下水汚泥からのエネルギー回収を考える」

- 下水処理やごみ処理において、ここまでエネルギー回収が進んでいるとは大変驚いた。自治体同士の連携にも注目していきたい。(30代・男性)
- 生ごみと下水汚泥のエネルギー回収技術の発達によって、石炭、石油、天然ガス等の化石燃料の消費量を抑えることができれば、大変良いことだと期待しています。(50代・男性)



◆ 第 86 回「数学に現れる無限の扱い方」

- 自然数、整数、有理数、無理数、実数の定義を忘れていたのを思い出させてもらってよかった。(60代・男性)
- とてもわかりやすかったです。微分積分にもう少し積極的に向き合えそうな気がします。(10代・女性)
- もう少し時間をとってじっくり聞きたかった。超準解析が少し出てきたのはよかった。岸和田でこういう話が聞けるとは素晴らしい。(40代・男性)



◆ 第 87 回「きしわだと歩く私の人生」

- 市長のこれまでの人生がよくわかり、面白かったです。政策的な話題が中心ではないことが逆に市長の価値観や考え方が良く伝わることにつながり、良かったと思います。(30代・男性)
- 食、栄養、医療の大切さをご自身の苦悩体験を通じてわかりやすく、熱く語って頂き、そして自身のポリシーとして現在取り組まれている施策につなげられていることも理解できました。(50代・男性)



◆ 第 88 回『世界一貧しい大統領』を生んだ小さくともキラリと光る国」

- 少し難しかったけれど面白かったです。自分でももう少し詳しく調べてみたいと思いました。(10代・女性)
- ウルグアイは民主主義の大先輩とは知りませんでした。いろんな政策、クーデター、軍部独裁などを経て今があるが、かなり進歩的（民主的）な社会ですね。(60代・男性)



◆ 第 89 回「デジタルカメラのしくみ」

- 普段何気なく使っているデジカメですが、その仕組みについて概略を知ることができ、今後より良い写真が撮れる気がしました。(30代・男性)
- ヒトの目は赤より緑のほうが認識しやすいことがわかりました。画素数だけでカメラの選択は避けるべきだとわかりました。(40代・男性)



◆ 第 90 回「稼げる中小企業のための『管理会計』」

- 初めて参加して、とても管理会計に興味を持ちました。本を買ったりして自分の事業に生かして会計の向上ができるように頑張ります。(20代・男性)
- サービス業（美容室経営）の会計をしており、複雑な会計でもないので、自分で決算書を作成していますので、今日のお話の中、「どんぶり勘定ではなく」というところは、気を付けないといけないところなので、管理会計に気をつけてみたいと思います。(40代・女性)



(2) 歴史講座

岸和田サテライトでは、2012 年、岸和田市教育委員会郷土文化室・貝塚市教育委員会郷土資料室の協力の下で、「根来出城図」にもとづくマップ『フィールドミュージアム 中世日本の国境地帯』を発行し、紀州が「国内の異国」であった戦国末期の国際情勢を提起しました。この研究視角は、故 山中吾朗氏（岸和田市教育委員会郷土文化室（当時））による泉南地区の根来・雑賀惣国勢力の研究蓄積にもとづいて発見されたものです。

2015 年に急逝された氏の業績を偲び、和歌山市・貝塚市・岸和田市に日本の国境線があった戦国乱世の時代を問いなおす講座を開催しました。

■山中吾朗氏追悼特別企画

「いま『中世日本の国境地帯』を考える - 倭寇「根来・雑賀」から降倭「沙也可」まで -

日 時：2016 年 8 月 11 日（山の日） 14 時～16 時

場 所：岸和田市立浪切ホール 4F 交流ホール

第 1 部：講演 海津一郎 教育学部教授 /

岡村康司氏（THE BEAT）

第 2 部：追悼セッション- 歴史学と博物館 -

小谷利明氏（八尾市立歴史民俗資料館館長）

坂江 渉氏（兵庫県立歴史博物館 ひょうご歴史

研究室研究コーディネーター）

藤田達生氏（三重大学教育学部教授）

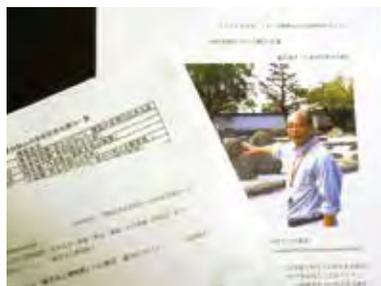
<50 音順>

コーディネーター：海津一郎

参加者：201 名

主 催：和歌山大学

後 援：岸和田市教育委員会・貝塚市教育委員会



### 3 地域研究事業

目指す姿Ⅲ：地域課題の解決と大学の知的資源と住民の交流をサポートしている

高等教育事業（学部開放授業・大学院授業）や生涯学習事業「わだい浪切サロン」等では必ずしも対応が十分にはできない地域課題の解決支援と住民参加型事業の構築を目的とする地域課題研究型プログラムを 2012 年度から実施しています。今年度は、岸和田サテライト 10 周年記念事業として 3 事業（(1)～(3)）に取り組みました。

#### (1) GIS 活用プログラム

サテライト友の会のメンバーが、2015 年度後期に開講した学部開放授業「地図で地域をみる発信する」を受講し、地図を地域活動に活用できることを学んだことをきっかけに、地図を使った地域づくり・まちづくりにつながることをめざした取り組みです。

友の会メンバーが主体となってマッピング実行委員会を設立し、府立岸和田高等学校とも連携し、まち歩きやマッピングを進めました。

また、2016 年度末に、マッピング実行委員会は発展的解消を遂げ、オープンデータ・GIS を利用した取り組みを進める自主学習グループが 2017 年度 4 月からスタートすることになりました。

#### ■マッピングの取り組み

第 1 回 2016 年 7 月 24 日（土） 友の会による 8 月 6 日の予行

第 2 回 2016 年 8 月 6 日（土） 友の会・岸和田高等学校とのまち歩き、マッピング



(2) オープンデータの取り組み

岸和田おーぶんでーたそん 2017

誰でも自由に使える「オープンデータ」を使ったり作ったり考えたりする世界同時開催のお祭り「インターナショナル・オープンデータ・デイ」(IODD)に参加し、「オープンデータソン」を開催しました。今回は、地域情報を市民が自らまちに出て歩き、情報を採取し、採取した情報をデータ化したり、ネット上の地図に反映させたりすることを目的にした取り組みです。

また、岸和田の情報を発信している「岸ぶら」(岸和田市観光振興協会公式サイト)編集長の渡邊隆氏にご協力いただき、「地域情報の発信と活用について」というテーマで、「岸ぶら」の魅力・活用の仕方などを講演いただきました。

地域の情報が詰まった「岸ぶら」と OpenStreetMap や LocalWiki といったツールを用いて、岸和田の情報を自分たちで探し出して、オープン化することをめざしました。

■岸和田おーぶんでーたそん 2017

- 日 時 2017 年 3 月 4 日 (土) 10 時～16 時  
場 所 岸和田市立浪切ホール 1F 多目的ホール  
講 演 「地域情報の発信と活用について」「岸ぶら」編集長 渡邊隆氏  
オリエンテーション 満田成紀 システム工学部准教授  
参加者 23 名  
主 催 和歌山大学岸和田サテライト・岸和田市  
協 力 岸和田サテライト友の会、岸和田市観光振興協会



### (3) 主権者教育プログラム

#### 18 歳からの一票

2016 年「18 歳選挙権」が話題となりましたが、主権者が育つために大学ができることは何か？  
このような考えから、1 年間を通じて 3 回のプログラムを実施しました。

岸和田市と協力し、岸和田市内の公立高校を中心に呼びかけ、高校生の参加を求めるとともに、  
和歌山大学生の参加を募り、高校生・大学生がともに学ぶことのできる場づくりをめざしました。

また、今回は、高校教員の協力はじめ、岸和田市立図書館ともコラボすることができ、多くの  
協力を得ることができました。

#### ■プログラムの概要

講 師 越野章史 教育学部准教授

協 力 大阪府立岸和田高等学校、岸和田市立図書館

#### 【開催状況】

- 第 1 回 「ボートマッチを体験しよう」ボートマッチ編（参加者 5 名）  
2016 年 6 月 12 日（土）13 時半～16 時半 @ 岸和田市立浪切ホール 4F 会議室 2・3
- 第 2 回 「政治の争点なんて知らんし！ほんまそれな！」情報収集編（参加者 11 名）  
2016 年 9 月 25 日（日）13 時半～16 時半 @ 岸和田市立図書館
- 第 3 回 「政治の争点なんて知らんし！ほんまそれな！」ディベート編（参加者 6 名）  
2016 年 11 月 27 日（土）13 時半～16 時半 @ 岸和田市立図書館



## 4 各種連携

目指す姿Ⅲ：地域課題の解決・大学の知的資源と住民の知的交流をサポートしている

### (1) 学校教育分野

#### ■高校からの大学訪問

（経済学部・岸和田市立産業高等学校）

7月12日、岸和田市立産業高等学校の生徒さんが本学経済学部（栄谷キャンパス）を訪問しました。経済学部教員による学部紹介、大講義室での授業見学に続いて、ゼミ体験を通じて大学生と交流しました。



#### ■地域でのフィールドワーク（経済学部・和歌山信愛高等学校）

7月14日、和歌山信愛高等学校1年生「探求基礎」の授業のなかで、地域の商店街を考えるフィールドワークがおこなわれ、岸和田駅前通をはじめとした岸和田の商店街の現状と課題について、地元の方のお話を伺いました。



#### ■出張授業

8月25日、生徒に大学の授業にふれてもらい、今後の進路選択につなげてもらう目的で、藤田和史准教授（経済学部・岸和田サテライト長）が「フラット化に抗うイノベーション」をテーマに、2年生に授業をおこないました。

#### ■岸和田市教育委員会との連携（教育学部ほか）

本学教育学部の米澤好史教授、豊田充崇教授、山本奈美准教授、災害科学教育研究センター今西武客員教授により、市内小中学校での生活指導・学力向上・特別支援等の分野における研修・助言・授業研究等、約20件の協力を行いました。

(2) 生涯学習分野・まちづくり分野・産学連携分野

■まちづくりネットワーク岸和田

8月24日、「農山村の今 地方創生の次なる動き」をテーマに、本学食農総合研究所の岸上光克准教授が講演しました。



■「連携ひろばワダイ×キシワダ」第2回交流会

岸和田市内の事業所・団体の会員からなるサテライトを拠点とした交流促進組織「連携ひろばワダイ×キシワダ」の第2回交流会を開催しました。第2回は、岸和田商工会議所、いずみの農業協同組合、浪切ホール、ラヂオさしわだ、岸和田サテライト友の会より出席いただき、「広報」をテーマに、各事業所の取り組みを紹介し、意見交換しました。（12月21日）



■第6回ビジネス交流会 & 名刺交換会

9月6日、大阪府立産業技術総合研究所において、ビジネス交流会 & 名刺交換会が開催されました。

和歌山大学産学連携研究支援センターの産学連携コーディネーターと協力し、和歌山大学のブースを出展しました。



■「苔テラリウム」ワークショップ

11月19日～20日、岸和田市異業種交流会、岸和田市産業政策課との連携により、和歌山大学祭において、苔に親しむ手作り体験の催しを出展しました。当日は、近所の親子連れや学生など、多数の参加者があり、大変好評でした。



### (3) 岸和田サテライト友の会の活動支援

岸和田サテライト友の会は、受講者（授業・「わだいな浪切サロン」）の同窓会的組織です。今年度は、友の会の主催による「岸和田サテライト 10 周年フォーラム」の企画運営支援を中心におこないました。

#### ■総会・夏季講演会

- 開 催 8 月 11 日（祝日）14 時～16 時 20 分（浪切ホール研修室）
- 内 容 総 会：和歌山大学岸和田サテライト友の会会則の一部改正、役員改選  
講 演：「いま『中世日本の国境地帯』を考える」（p.88 参照）  
上記歴史講座を夏季講演会として位置づけました。
- 参加者 総会 23 名、講演 201 名（一般参加者を含む）



#### ■岸和田サテライト 10 周年フォーラムの主催

- 開 催 2017 年 2 月 11 日（祝日）13 時～16 時 30 分
- 内 容 岸和田サテライト 10 周年記念誌 参照
- 参加者 297 名（うち友の会会員 29 名）

#### ■友の会幹事会

今年度は、岸和田市民フェスティバルとサテライト 10 周年フォーラムの企画を主要な取り組みとして、1～2 ヶ月ごとに幹事会を開催し、活発に意見を出し合いながら事業計画を進めました。



#### ■マッピング実行委員会

10 周年記念事業として、マッピング実行委員会を立ち上げ、「GIS 活用プログラム」を進めました。フィールドワークを行い、地域の情報を収集し、収集した情報をインターネット上の地図である OSM（オープンストリートマップ）に掲載しました。



■第 39 回岸和田市民フェスティバル

（協力：今西 武 災害科学教育研究センター客員教授、岸和田市建設指導課）

岸和田サテライト友の会と岸和田サテライトが協力して出展している市民フェスティバル。今年「大地震に備えよう」をテーマに、身近な防災の展示・体験コーナーを設けました。なかでも、岸和田市建設指導課による住宅耐震実験（「ぶるるの実験」）が関心を集めました。また、新聞紙でつくる「マイトイレ」のコーナーでは、たくさんのお子さんや家族連れが体験しました。

○開催 5月3日（祝）（岸和田市中央公園）

○内容 「大地震に備えよう」

展示と説明：災害時のツナ缶ランプ実演・防災用品の展示、耐震実験「ぶるるの実験」

製作体験：新聞紙とペットシートを使った「マイトイレ」

○参加者 約 530 名



## 5 組織体制・事務局機能

目指す姿Ⅳ：持続可能な連携組織となっている

### (1) 組織的な連携推進

- 地域連携戦略ビジョン・アクションプランに基づく事業実施  
2014 年度、和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会において、「和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン（2014 - 2023）」が承認されました。

2016 年度の地域連携事業については、このビジョンに示す連携の 4 つの「目指す姿」の達成のために、前年度末に評価シートを用いて検証をおこない、各事業項目についての定量的・定性的評価により抽出した課題を「地域連携アクションプラン（2016 - 2018）」へ反映させました。



- 第 19 回和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会

5 月 2 日、瀧 寛和 和歌山大学長、信貴 芳則 岸和田市長をはじめとする会員の出席により、今年度の協議会を開催しました。2015 年度事業報告、2016 年度事業方針および事業計画案の承認に続いて、大学と市の連携事業全般についての意見交換がおこなわれました。（岸和田市役所）



- 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会

地域連携推進協議会のもと、連携事業の企画・運営・調整を担う企画運営委員会を、2016 年度は 4 回開催しました。

- 第 1 回 4 月 18 日（岸和田市役所）
- 第 2 回 7 月 11 日（和歌山大学）
- 第 3 回 12 月 22 日（浪切ホール）
- 第 4 回 2017 年 3 月 31 日（岸和田市職員会館）



- 調整会議

和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会のもと、大学と市の日常的な情報交換と地域連携業務の調整を図るため、月例で担当者レベルの調整会議を実施しています。

- 岸和田市協働推進チーム会議

岸和田市自治振興課、政策企画課、生涯学習課、岸和田市ボランティアセンターなどの担当者とともに、情報交換、地域の課題共有、各種事業の調整などの月例会議に参加しました。



(2) 地域連携コーディネーターの活動（詳細は資料編 F 参照）

■第 5 回地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー

大学の地域連携にかかわる教職員の研究研修事業として、和歌山大学地域連携・生涯学習センターの主催による合宿形式のセミナーを尚絅学院大学（宮城県名取市）において開催しました。

岸和田サテライトからは、サテライト長、地域連携コーディネーターが参加しました。（9月8日・9日）



■第 2 回東アジア生涯学習グローバルフォーラム（韓国）

韓国・中国・台湾・日本の 4 か国の研究者・実践者が集い各国の生涯学習の取り組みを報告するフォーラムが開かれました。

日本からは、和歌山大学の村田和子教授が招待されました。その付き添いとして、岸和田サテライトの西田 CD が共に参加し、大学における生涯学習や地域連携の取り組みについて交流しました。（10月31日～11月3日）



■岸和田市自治基本条例・協働推進員会議での報告

岸和田市の自治基本条例には、「市民と事業者と市の協働によるまちづくり」が掲げられています。自治基本条例の推進委員（岸和田市職員）を対象とした研修において、「自治体と大学との連携事例」と題して、岸和田市政策企画課と岸和田サテライトから報告をおこないました。（3月4日）



(3) 広報活動・各種協力

■ウェブサイト、Facebook ページの運営

岸和田サテライトウェブサイト・ブログ・Facebook ページにおいて、各種事業の開催案内や実施後の記録公開など、速やかな情報発信に努めました。

■「岸和田サテライト通信」発行

サテライトの事業を定期的に学内外に紹介するために、「岸和田サテライト通信」(vol.20) を発行しました。授業や「わだい浪切サロン」での配布や、ホームページ掲載によって広くお知らせしています。



■岸和田商工会議所『きしわだ所報』連載

岸和田商工会議所の会報『きしわだ所報』に本学教員の連載コラムを掲載しました。

「大学生のキャリア形成支援の現場から」本庄麻美子 経済学部助教(2016年4月号～9月号)、「人材マネジメントのジレンマが会社を変える」、厨子直之 経済学部准教授(10月号～2017年3月号)。



■浪切ホール『ナミトモ』

浪切ホール広報リーフレットに「わだい浪切サロン」をはじめとする岸和田サテライト事業の案内を掲載しています。



■岸和田サテライトリーフレット

岸和田サテライトの機能、業務をコンパクトに紹介しています。



- テレビ岸和田「DON ちち!」でサテライトを PR  
地元ケーブルテレビの地域情報番組に、藤田サテライト長・西田地域連携コーディネーターが出演し、岸和田サテライトをアピールしました。



#### (4) 地域からの問い合わせ対応

2016 年 4 月～2017 年 3 月、電話、電子メール、訪問などによる約 150 件の問合せ・相談がサテライトオフィスに寄せられました。各問合せ・相談に対して、回答、資料送付、本学各担当部署への照会などをおこない、速やかに対応しました。

##### < 主な内容 >

- 本学教員への指導・助言などの要請
- 本学学生への地域活動などの参加要請
- サテライト開講授業（募集要項、開講内容、大学院への進学など）について
- サテライトや学内の事業（「わだいなぎサロン」、各種セミナーなど）について
- サテライトの業務内容、業務時間などについて
- 本学の入試（大学案内、一般・推薦・社会人入試など）について
- 教員免許状更新講習について
- その他（本学の教育内容など）



# 資料編

## 目次 (2016年度)

A	開講授業データ	102
B	事業告知チラシ	110
C	岸和田市附属機関委員等の就任状況	115
D	和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿	116
E	和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿	116
F	連携ひろばワダイ×キシワダ会員名簿	117
G	和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿	117
H	地域連携コーディネーター活動記録	118

資料 A 開講授業データ

**2016 年度 学部開放授業**

【前期開講科目】

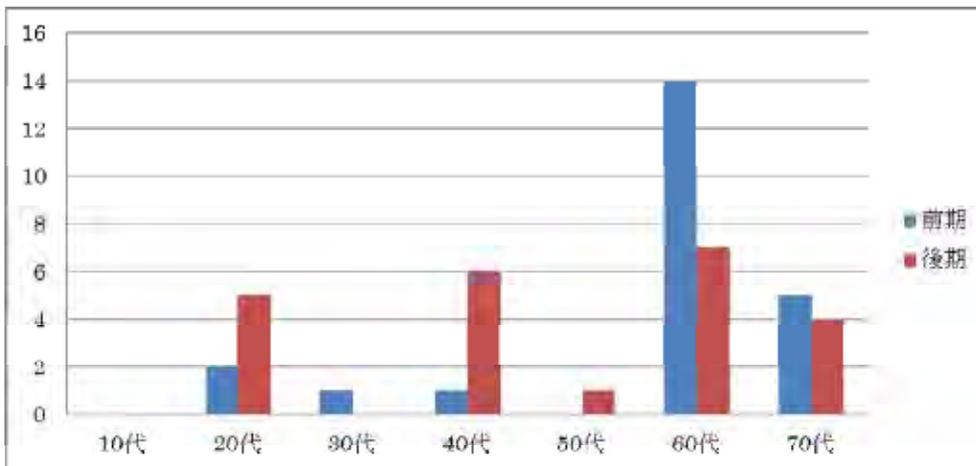
- ・ マスツーリズムによる地域活性化
- ・ 文学テキストで読む社会科学 ―都市・国家・人間―

【後期開講科目】

- ・ データで地域を考える ―課題発見と活動支援のためのデータ利活用―
- ・ 英語で読む地域と景観

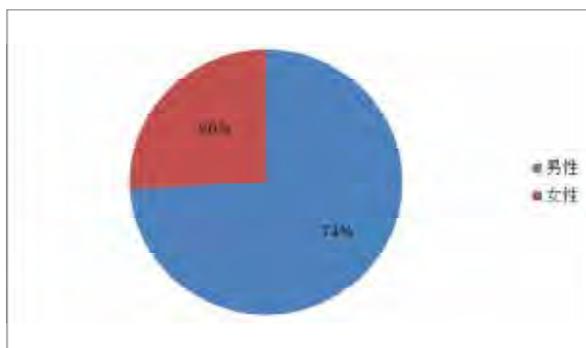
※アンケート回答数 46（内訳：学部開放授業受講者 38 学部生 8 回収率：74%）

(1) 受講者の年齢（n=46）（学部開放授業受講者・学部生アンケート回答者）

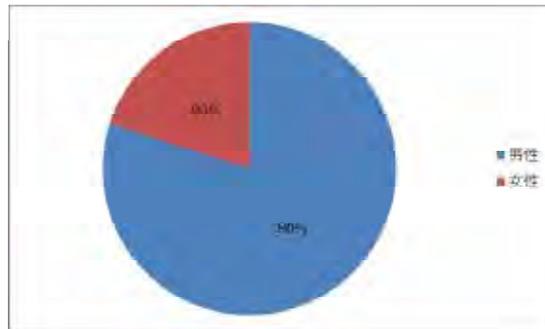


(2) 履修・受講者の男女比 (学部開放授業受講者・学部生全員)

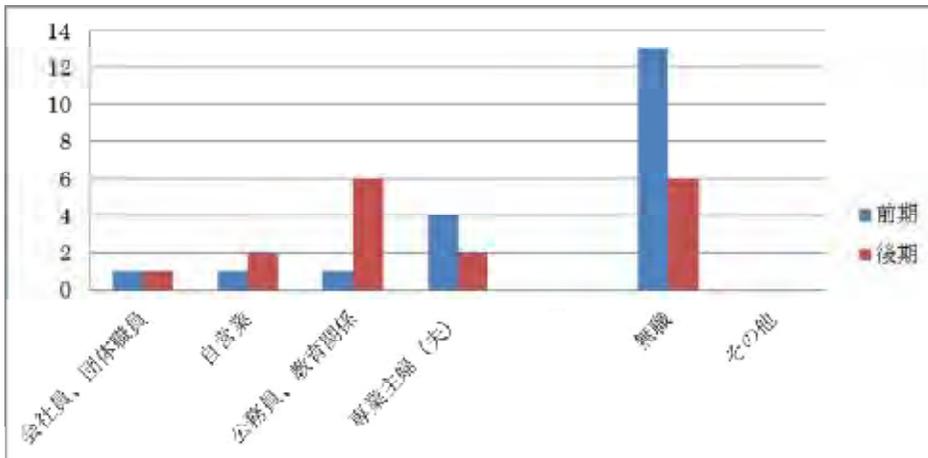
前期 (n=27)



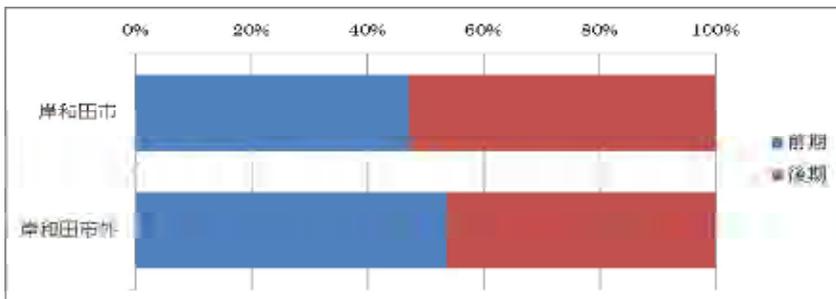
後期（n=35）



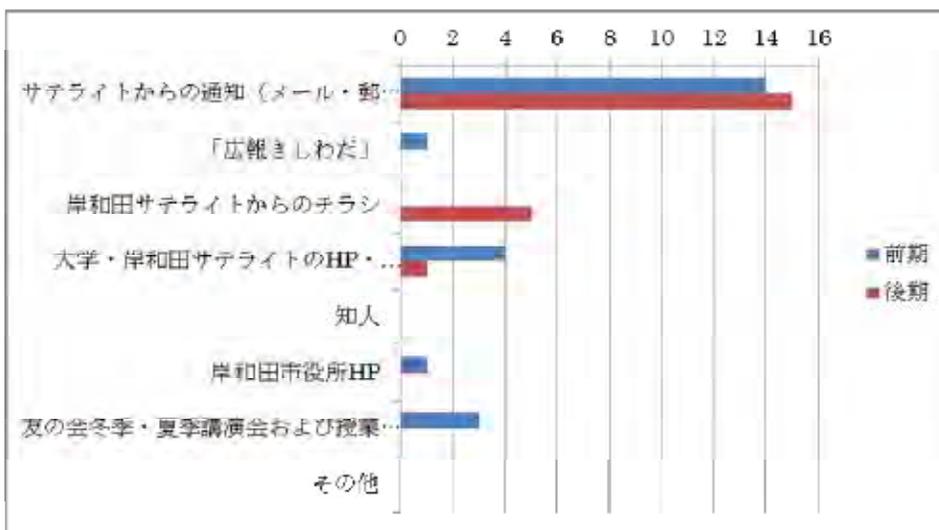
(3) 受講者の職業（n=30）（学部開放授業受講者アンケート回答者）



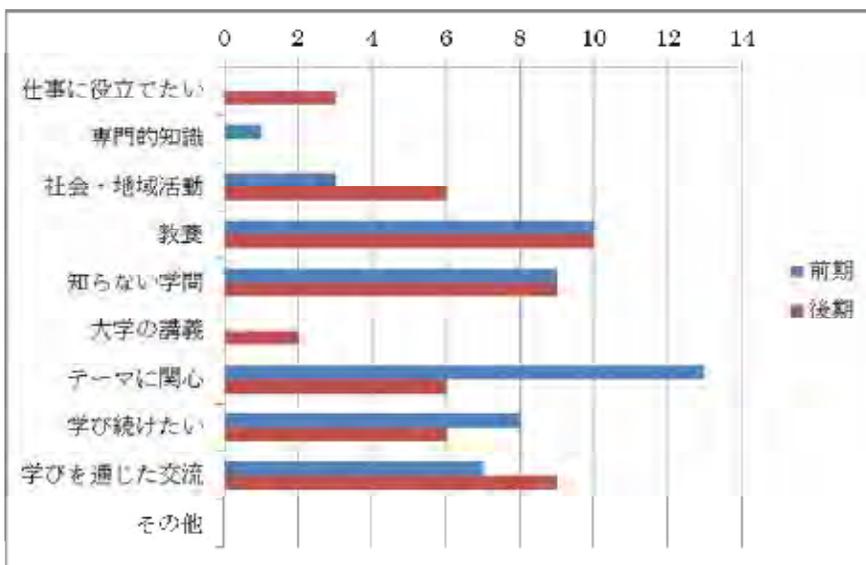
(4) 受講者の居住地（n=30）（学部開放授業受講者アンケート回答者）



(5) 当該授業の開講を知った手段（学部開放授業受講者アンケート回答者）（複数回答）



(6) 当該授業の受講動機（学部開放授業受講者アンケート回答者）（複数回答）



専門的知識…専門的知識を得たいから  
 教養…教養を高めたいから  
 大学の講義…大学の講義を受けたいから

社会・地域活動…社会や地域の活動に役立てたいから  
 知らない学問…知らない学問分野を学びたいから

（7）授業についての自由記述（一部）

- ・資料配布が少なく、授業内容を把握することが難しかった。（学部開放授業受講者）
- ・もう少し問題点を深く突っ込んだ内容を期待したのですが…。頭の整理にはなりました。（学部開放授業受講者）
- ・先生の都合で仕方がないことですが、10:50～17:00 の授業は長過ぎ。先生の方がもちろん疲れますが、真剣に聞いていても疲れます。（学部生）
- ・教材の作品が難しく、読んでいるときは難儀したが、先生の話聞き、少しは理解できた気がする。（学部開放授業受講者）
- ・この2年間で8講義を受講しましたが、今回は最も充実した内容でした。面白かったというよりも、考えさせられたという感想です。（学部開放授業受講者）
- ・刺激あふれる内容、非常に満足。本の選定が good! 続きの講義を期待します。（学部開放授業受講者）
- ・自分たちの地域を自分たちでよくしていくという取り組みを学ぶことができました。（学部生）
- ・何気なくネット環境に接しているものの、あまり知らないことに気付かせてくれた。地域PR・課題への取り組みをデータを使ってさらに発展した形であれば有難いです。（学部開放授業受講者）
- ・またこういうのがあれば参加したいです。（学部開放授業受講者）
- ・社会人に学習の機会を与えてくれるサテライトの存在は大変貴重なものだと感じている。岸和田市内の受講生が大学・サテライトのことを大切にしていると思う。（学部開放授業受講者）
- ・久々の英訳だったので疲れました。英国の歴史に興味を持ったので、メアリー・スチュアート等の王族の話や戦争の話があれば、また受講したい。（学部開放授業受講者）
- ・英訳が難しく苦戦しました。（学部生）

2016 年度 大学院授業

【前期開講科目】

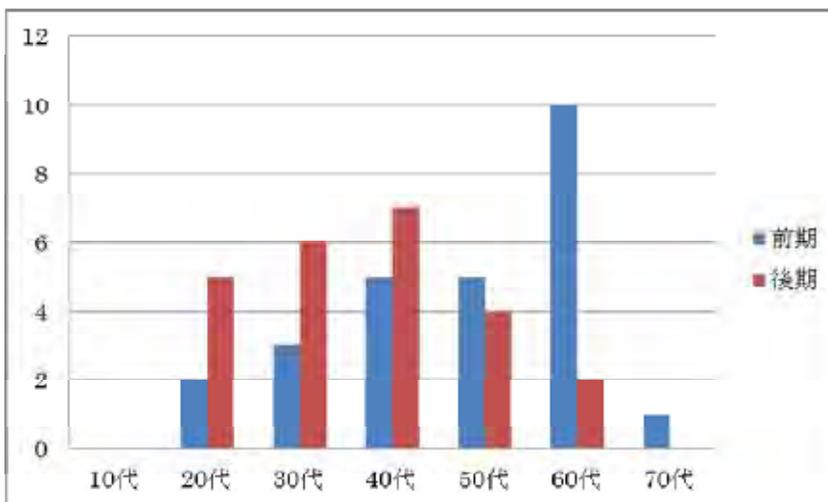
- ・憲法判例から見る日本国憲法
- ・持続可能な現代社会
- ・会社法特殊問題
- ・所得税法特殊問題

【後期開講科目】

- ・ビジネスモデルデザイン特殊問題
- ・連結会計特殊問題
- ・消費税法特殊問題
- ・租税法実務特殊問題

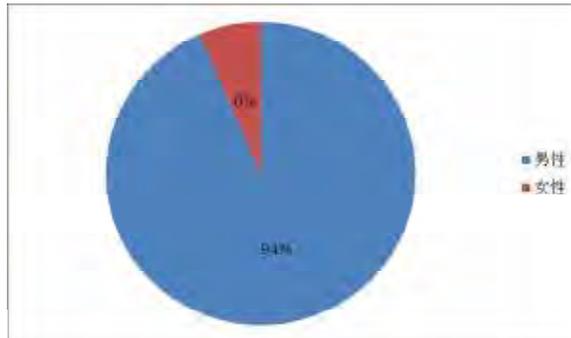
※アンケート回答数 50（内訳：科目等履修生 18 大学院生 32 回収率 81%）

(1) 受講生の年齢（大学院生・科目等履修生アンケート回答者）（n=50）

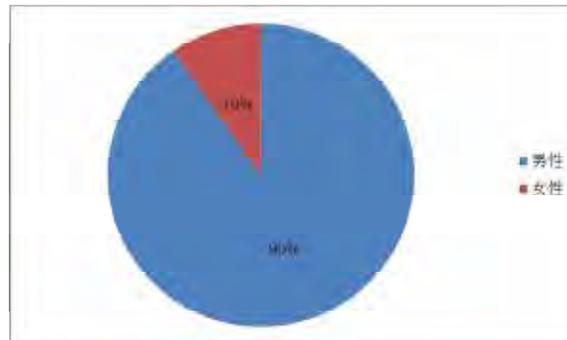


(2) 受講生の男女比（大学院生・科目等履修生全員）

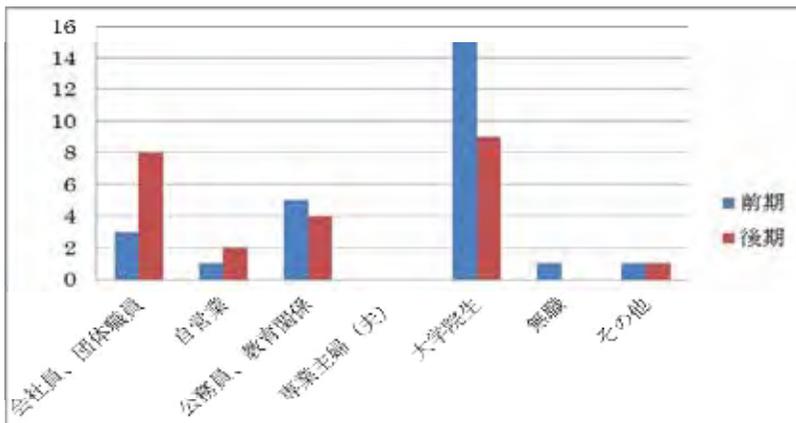
前期（n=31）



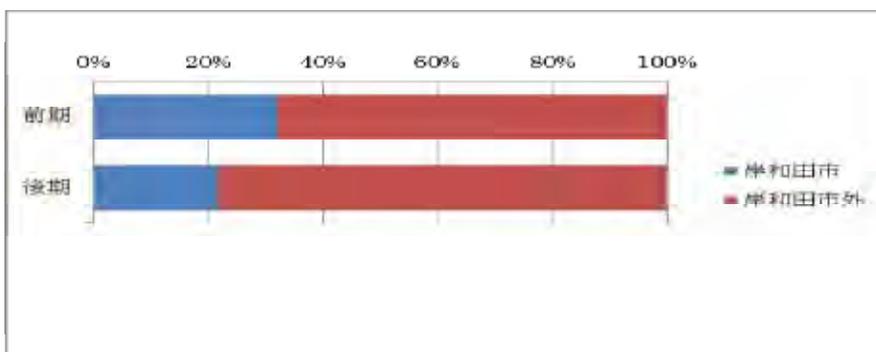
後期（n=31）



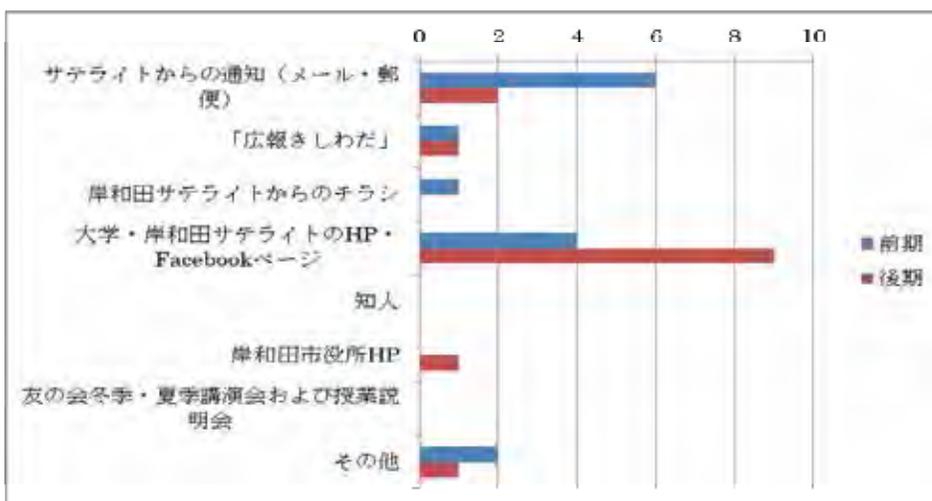
(3) 受講生の職種（大学院生・科目等履修生アンケート回答者）（n=50）



(4) 受講生の居住地（大学院生・科目等履修生アンケート回答者）（n=50）



(5) 当該大学院授業の開講を知った手段（科目等履修生アンケート回答者）（複数回答）



(6) 授業についての自由記述（一部）

- ・税理士の方々のご経験をもとに講義を受けたことで、税理士業務の実情をよく理解することができました。（大学院生）
- ・さまざまな講義がサテライトで受けられるようになれば、もっとすばらしいものになると思います。（科目等履修生）
- ・専門外でしたが、非常に興味が持て、さらに知識を深めたいと思いました。みなさん博学で、自身を振り返ると反省もし、触発もされました。（科目等履修生）

- ・福祉、雇用（労働）、財政の3分野を一度に学習でき、それぞれの関連性や相違を考えることができ、大変よい講義だったと思います。（大学院生）
- ・いつも税法中心の講義なので、ビジネス中心の内容を理論的に学べたのはよかったです。（大学院生）
- ・科目等履修生の方を中心に、異なる世代の方と交流ができて非常に刺激的でした。（大学院生）
- ・なぜ岸和田でやるのかがよくわかりません。学生にとって、毎週岸和田までくる電車賃はきついです。和歌山大学で開講してほしい。この科目を勉強したい学生は多いと思いますが、岸和田まで行くのは…という学生が周りにいくらかいますので。（大学院生）

B 2016 年度 事業告知チラシ

社会人受講生募集 (前期)

社会人受講生募集 (後期)

第81回 わだい浪切サロン

第82回 わだい浪切サロン









## C 岸和田市附属機関委員等の就任状況（2016 年度）

附属機関名	教員名	所属
環境審議会	原 祐二	システム工学部准教授
環境審議会	吉田 登	システム工学部教授
子ども子育て会議	米澤 好史	教育学部教授
建築審査会	足立 基浩	経済学部教授
開発審査会	堀田 祐三子	観光学部教授
景観審議会	堀田 祐三子	観光学部教授
産業活性化推進委員会	藤田 和史	経済学部准教授
公共施設マネジメント検討委員会	足立 啓	システム工学部教授
公共施設マネジメント検討委員会	大井 達雄	観光学部准教授
都市政策研究アドバイザー（統計分析）	大井 達雄	観光学部准教授
都市政策研究アドバイザー（空き家対策）	藤田 和史	経済学部准教授
総合戦略策定アドバイザー	藤田 和史	経済学部准教授
生物多様性地域戦略部会	中島 敦司	システム工学部教授
中学校給食準備委員会	加藤 芳伸	教育学部特任教授

D 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿（2016年度）

和歌山大学		岸和田市	
学長	瀧 寛 和	市長	信 貴 芳 則
理事 (教育、学生、入試担当)	池 際 博 行	副市長	大 原 好 照
理事 (大学改革、評価担当)	山 田 良 治	副市長	根 来 喜 之
副学長	森 口 佳 樹	教育長	樋 口 利 彦
地域連携・生涯学習センター 副センター長	金 子 泰 純	産業振興部長	津 村 昭 人
岸和田サテライト長	藤 田 和 史	学校教育部長	須 賀 俊 介
岸和田副サテライト長	山 名 敏 之	生涯学習部長	濱 上 剛 志
総務課地域連携室長	山 畑 一 男	企画調整部長	黒 石 忠 志
		企画調整部 企画課長	藤 浪 秀 樹

E 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿（2016年度）

和歌山大学		
岸和田サテライト長（経済学部准教授）	藤 田 和 史	代表委員
岸和田副サテライト長（教育学部教授）	山 名 敏 之	
総務課地域連携室長	山 畑 一 男	
総務課地域連携室地域連携係長	森 本 充 昭	
岸和田サテライト地域連携コーディネーター	神 谷 千 春	
岸和田サテライト地域連携コーディネーター	西 田 喜 一	
岸和田市		
企画調整部企画課長	藤 浪 秀 樹	代表委員
企画調整部企画課職員	蓮 井 睦 美	
企画調整部企画課職員	井 元 智 美	
企画調整部企画課職員	濱 口 大 輔	

## F 連携ひろばワダイ×キシワダ 会員名簿（2016 年度）

	所 属	氏 名（敬称略）
会員	いずみの農業協同組合	村 中 正 俊
会員	岸和田商工会議所	西 岡 數 房
会員	大阪鉄工金属団地協同組合	原 山 充 弘
会員	岸和田市観光振興協会	武 田 吉 清
会員	岸和田市立浪切ホール	近 松 健 二
会員	特定非営利活動法人ラヂオきしわだ	梶 野 昭 太 郎
会員	和歌山大学岸和田サテライト友の会	鱧 谷 納

## G 和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿（2016年度）

職 名	所 属	氏 名
サテライト長	経済学部准教授	藤 田 和 史
副サテライト長	教育学部教授	山 名 敏 之
地域連携コーディネーター	総務課地域連携室	神 谷 千 春
地域連携コーディネーター	総務課地域連携室	西 田 喜 一
事務担当	総務課地域連携室	梅 田 由 美

H 地域連携コーディネーター活動記録

(場所の記載のないものは岸和田サテライト)

■2016年4月

- 07 学務課打ち合わせ (和歌山大学)
- 11 調整会議  
岸和田市民フェスティバル実行委員会(市職員会館)
- 16 友の会幹事会
- 18 第1回企画運営委員会(岸和田市役所)
- 20 第81回わだいな浪切サロン
- 23 マッピング実行委員会
- 29 岸和田市民フェスティバル準備(中央公園)

■5月

- 02 第19回和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会(岸和田市役所)
- 03 岸和田市民フェスティバル(中央公園)
- 14 友の会幹事会
- 15 マッピング実行委員会
- 18 第82回わだいな浪切サロン
- 19 調整会議
- 20 岸和田市協働推進チーム会議(中央公民館)
- 23 マッピング実行委員会

■6月

- 04 友の会幹事会
- 11 マッピング実行委員会
- 12 主権者教育プログラム(第1回)「ボートマッチを体験しよう！」
- 13 オープンデータに関する打ち合わせ(和歌山大学)
- 15 第83回わだいな浪切サロン
- 16-17 産学連携学会(浜松市)
- 17 岸和田市協働推進チーム会議(中央公民館)
- 18 マッピング実行委員会
- 24 調整会議
- 27 サテライト会議

■7月

- 08 岸和田市協働推進チーム会議(中央公民館)
- 11 第2回企画運営委員会(和歌山大学)
- 12 岸和田産業高等学校の本学訪問同行(和歌山大学)
- 12 岸和田商工会議所打ち合わせ
- 13 主権者教育プログラム会議
- 14 和歌山信愛高等学校フィールドワーク受け入れ
- 15 テレビ岸和田「DONちち！」出演(テレビ岸和田)
- 16 マッピング実行委員会

- 20 第84回わだいな浪切サロン
- 21 主権者教育プログラム図書館と打ち合せ(市立図書館)
- 24 友の会マッピングパーティ予行(岸和田市内)
- 24 友の会幹事会
- 25 岸和田市民フェスティバル反省会(市職員会館)
- 30 男女共同参画に関する打ち合わせ(和歌山大学)

■8月

- 03 マッピング実行委員会
- 06 友の会マッピングパーティ(岸和田市内)
- 08 和泉商工会議所申し入れ(和泉商工会議所)
- 11 歴史講座「いま『中世日本の国境地帯』を考える」開催
- 12 主権者教育プログラム図書館と打ち合せ(市立図書館)
- 22 苔テラリウム・異業種交流会打ち合せ(和歌山大学)
- 24 まちづくりネットワーク岸和田(吉村旭輝教員)(岸和)
- 26 岸和田市協働推進チーム会議(中央公民館)
- 26 地域連携コーディネーター打ち合わせ
- 27-29 社会教育推進全国協議会・事例報告(明治大学)
- 30 イクボス宣言に関する打ち合わせ(和歌山大学)

■9月

- 06 第6回ビジネス交流会&名刺交換会(大阪府立産業技術総合研究所)
- 08-09 第5回地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー(尚絅学院大学)
- 21 第85回わだいな浪切サロン
- 23 地域連携コーディネーター打ち合わせ(地域遠景・生涯学習センター)
- 25 主権者教育プログラム(第2回)「政治の争点なんか知らんし!ほんまそれな!」開催(岸和田市立図書館)
- 29 産学連携センター打ち合わせ
- 29 岸和田高等学校社会科発表会(岸和田高校)

■10月

- 06 苔テラリウム大学祭出展打ち合せ(和歌山大学)
- 08 友の会幹事会
- 08 マッピング実行委員会
- 14 岸和田市協働推進チーム会議(中央公民館)
- 15 マッピング実行委員会
- 19 第86回わだいな浪切サロン
- 31 第2回東アジア生涯学習グローバルフォーラム(韓国)

■11 月

- 01-03 第 2 回東アジア生涯学習グローバルフォーラム(韓国)
- 03 10 周年フォーラム講演講師打ち合わせ(高知県土佐郡)
- 05 友の会幹事会
- 07 大阪府立大学・和歌山大学合同シーズ発表会
- 07 主権者教育プログラム打ち合せ(和歌山大学)
- 09 Code for OSAKA 参加(グランフロント大阪)
- 10 主権者教育プログラム打ち合せ(市立図書館)
- 13 マッピング実行委員会
- 14 10 周年フォーラム出展打ち合わせ(和歌山大学)
- 16 第 87 回わだいな浪切サロン
- 17 イクボスセミナー(岸和田市立福祉総合センター)
- 18 岸和田市協働推進チーム会議(中央公民館)
- 19-20 大学祭に「苔テラリウム」出展(和歌山大学)
- 26 友の会幹事会
- 27 主権者教育プログラム(第 3 回)「政治の争点なんか知らんし!ほんまそれな!」開催(岸和田市立図書館)

■12 月

- 01 全日本大学開放研究機構第 6 回研究会報告(龍谷大学)
- 10 マッピング実行委員会
- 16 岸和田市協働推進チーム会議(中央公民館)
- 21 第 2 回連携ひろばワダイ×キシワダ
- 21 第 88 回わだいな浪切サロン

■2017 年 1 月

- 07 マッピング実行委員会
- 07 友の会幹事会
- 11 10 周年フォーラム司会者打ち合わせ(テレビ岸和田)
- 18 第 89 回わだいな浪切サロン
- 25 大阪教育大学授業「生涯教育と高等教育」ゲスト講師(大阪教育大学)

■2 月

- 04 岸和田高等学校「探究・国際総合」授業発表会(岸和田高校)
- 11 和歌山大学岸和田サテライト 10 周年フォーラム
- 16 和高教・主権者教育プログラム報告(和歌山・高校会館)
- 17 岸和田市協働推進チーム会議(中央公民館)
- 25 友の会幹事会

■3 月

- 03 「地方創生に求められる課題と展望」聴講(和歌山大学)
- 04 「岸和田おーぶんでーたそん 2017」開催
- 09 自治基本条例・協働推進員会議での友の会との協働に

関する報告(市職員会館)

- 11 友の会幹事会
- 15 第 90 回わだいな浪切サロン
- 24 岸和田市協働推進チーム会議(中央公民館)
- 25 友の会幹事会
- 27 調整会議
- 31 第 3 回企画運営委員会(岸和田市職員会館)

## 和歌山大学岸和田サテライト事業報告2016 (平成28年度)

---

発行日 2017年4月1日

発行 国立大学法人和歌山大学岸和田サテライト

〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

TEL&FAX : 072-433-0875

<http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>



和歌山大学岸和田サテライト 10 周年記念・事業報告 2016

# 地域創造と大学サテライト II

—地域と融合する大学をめざして—

国立大学法人和歌山大学岸和田サテライト

596-0014 岸和田市港緑町 1-1 岸和田市立浪切ホール 2F

tel. : 072-433-0875

e-mail : kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp